

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587053701	科目番号 / Subject code	05870537
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる3 (多文化社会) / Multicultural Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi, 楠山 研 / Kusuyama Ken, BEH SIEWKEE / Shuki Bee, 川越 明日香 / Kawagoe Asuka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi, 大橋 絵理 / Oohashi Eri, MOI MENG LING / MOI MENG LING		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	劉 卿美 you-kiss nagasaki-u.ac.jp ペー シュウキー skbeh nagasaki-u.ac.jp 楠山 研 kusuyama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Laboratory	劉 卿美 教養B棟106号室 ペー シュウキー 教養B棟111号室 楠山 研 教育学部219号室		
担当教員TEL/Tel	劉 卿美 095-819-2081 ペー シュウキー 095-819-2381 楠山 研 095-819-2395		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	国際社会で活躍する人にとって多文化理解能力は必須である。本授業においては、韓国・マレーシ アなどの文化を例に取り上げ、その特徴を理解するとともに、共生社会について考える。		
授業到達目標/Goal	他国の文化の特徴について探求し、理解することができる(?自主的探求、?基盤的知識)。 共生のための相互理解のあり方について考え、表現することができる(?多様性の意義、?批判的思 考、?自己表現)。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義、プレゼンテーション、グループ討論など		
授業内容/Class outline/Con	隣国、韓国やマレーシア等の例を見ながら、多文化社会がかかえる課題について理解する。さらに 、それぞれの違いを認識し、共に生きる、共生社会について考える。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業外課題として、毎週、レポート課題を課します。授業では、予習をもとに授業を展開してい きますので、積極的に取り組んでください。		
キーワード/Key word	多文化理解、多言語社会、共生社会、韓国、マレーシア、カリキュラム		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	配布資料 (ファイリングした上で、毎回の授業に持参してください)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各教員25点 (予習課題 + 授業中の活動 + 定期試験) と最終プレゼンテーション25点で採点を行な う。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	各授業は授業外学習 (予習課題、プレゼン準備) を前提に行われます。また授業内では、グルー プ活動が中心となります。メンバーひとりが積極的に活動に貢献し、協働することが求められます。 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障 壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下 さい。アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション、LACS説明		
第2回	韓国理解のキーワード? [担当: 劉教員]		
第3回	韓国理解のキーワード? [担当: 劉教員]		
第4回	韓国理解のキーワード? [担当: 劉教員]		
第5回	韓国理解のキーワード? [担当: 劉教員]		
第6回	日本人の人気移住先No1?! [担当: ペー教員]		

第7回	3つの時間割表からみるマレーシアの教育と言語?〔担当:ペー教員〕
第8回	3つの時間割表からみるマレーシアの教育と言語?〔担当:ペー教員〕
第9回	多民族社会の魅力と課題〔担当:ペー教員〕
第10回	世界の学校と日本の学校〔担当:楠山教員〕
第11回	国境を超える子どもたち〔担当:楠山教員〕
第12回	教室の中の多文化〔担当:楠山教員〕
第13回	わたしたちができること〔担当:楠山教員〕
第14回	最終プレゼンテーション?〔担当:劉教員〕
第15回	最終プレゼンテーション?〔担当:劉教員〕
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587053901	科目番号 / Subject code	05870539
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる3 (障がいと社会) / Inclusive Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 優花里, 楠山 研 / Kusuyama Ken		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 優花里		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 優花里		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで連絡をください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	健全と障害という、一見対極的なテーマを、共生社会という一つの枠組みの中でとらえていくための基礎的な知識を培います。主に、脳の器質的な損傷に由来する障害を扱い、それらの特徴を知るとともに、障害とは何かについて議論します。さらに、種々の支援の在り方や方法を考え、共生社会の実現に向けて我々ができることについて考えていきます。		
授業到達目標/Goal	1) 脳の損傷に由来する様々な問題とその変化の事例を通じて、脳と行動との関係性について考えをまとめることができる(?,?)。 2) 共生社会について理解し、その実現のための提案ができる(?,?,?)。 3) 多角的な情報収集をし、多面的な見方をする事、そして客観的事実に基づいた文章を作成することで脳科学リテラシーを高めることができる(?,?)。 4) アクティブラーニングの特性を生かし、グループ内での作業に貢献できる(?,?)		
授業方法 (学習指導法) /Method	グループディスカッション、グループプレゼンテーション、グループディベートを踏まえたアクティブラーニングとそれらに関連した内容の講義を行います。アクティブラーニングでは、予習復習が必須となります。予習復習で課される内容にはレポートが含まれます。レポートは、ループリックによって内容や書き方が評価されます。最終レポートは、それまでのレポートの集大成として、自分の力を示すものを提出していただきます。また、グループでの作業やその発表についてはピア評価を行います。		
授業内容/Class outline/Con	授業の各回に共通するテーマは「共生社会」です。 ・第1回目は、オリエンテーションです。この授業によって皆さんにどんな力を身に付けてほしいのか、そのためにはどのような心構えが必要かについて共有していきます。 ・第2?4回目は、我々の身の回りにあるエピソードから、そのエピソードに潜む問題や課題について考えていきます。 ・第5?7回目は、健全と障害という2つの側面から、私たちをとらえていきます。 ・第8?10回目は、共生社会実現のために私たちができることを考えていきます。 ・第11?13回目は、共生社会についての対極的な意見をもとに、それぞれの立場からのディベートを行います。 ・第15回目は試験、そして第16回目は授業全体の振り返りとして、共生社会について再度考えていきます。なお、授業進行は、グループ編成の都合からクラス内の人数によって変更が生じる場合があります。その際は、新たなシラバスを配り、お知らせいたします。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の予習復習は授業計画詳細の通りです。なお、第1回目の授業に必要な事前課題があります。「共生社会の意味と、共生社会を生きていくために自分たちが身に付けるべき力」について考え、以下の点に注意しながら、まとめてきてください。なお、以下の注意点は、15回の授業に共通するものです。 ?レポートの形式が決まっています。レポートのフォーマットはLACSの課題に掲載をしています。各自ダウンロードをしてください。 ?調べた内容については、必ず参考文献等の出典を示してください。 ?レポートは、ループリックを使用して評価されます。ループリックの内容はLACSの課題に掲載をしています。内容を確認の上、レポート作成に取り組んでください。 ?調べる = インターネットで検索したサイトの内容をそのままコピー & ペーストするということではありません。コピー & ペーストは、著作権の侵害です。コピー & ペーストをするということが、社会的にどんな大きな問題を生むかについては、昨今のニュースからもわかると思います。自分なりにいろいろ調べてまとめ、自分の言葉で記述しましょう。コピー & ペーストがわかった場合には、課題の提出点は0点となります。		
キーワード/Key word	共生社会、障害、健全		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業内で適宜紹介します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習復習課題の提出 (2点×11回。提出遅れは、1点) + 最終レポート25点 + プレゼン (3点×3回) + 期末試験44点 = 計100点のうち、60点以上に単位が与えられます。プレゼンのループリック評価は、毎回25点満点に0.12をかけて3点満点として換算します。		

受講要件 (履修条件) /Requirements	?自分が調べた資料やレポート、授業内での配布物すべてを一つのファイルにしますので、各自ファイルを用意してください。 ?予習・復習は必ず行って下さい。特に予習は、グループワークに必要となります。予習をしないことでグループの話し合いに支障をきたします。責任を持って臨んで下さい。 ?無断欠席はグループの作業に影響します。グループ内でのコミュニケーションをしっかりと行い、お互いに報告・連絡・相談を怠らないようにして下さい。 ?これまで学んだことと今回学ぶことをしっかりとリンクさせ、分かっていることと分かっていないことを自分の中で明確にするとともに、新しい情報の獲得に積極的に臨んで下さい。
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の目的と目標を知り、授業への姿勢を整えよう?アクティブラーニングとは、共生社会とは。良い聞き手になろう。
第2回	シナリオを読んで考えよう(1)?シナリオを読んで問題を創造し、問題の関係性を考え、マップを作ろう 復習: 本日の内容で興味深かったテーマの一つを選んで、調べてまとめよう。 予習: シナリオから浮かび上がった問題について、自分の担当について調べてまとめよう。
第3回	シナリオを読んで考えよう(2)?調べたことをまとめよう
第4回	シナリオを読んで考えよう(3)?調べたことを発表しよう 復習: 本日の内容で興味深かったテーマの一つを選んで(自分の担当以外)、調べてまとめよう。 予習: 自分の担当課題について調べてまとめよう。その際、グループ内で検索ソースにバリエーションを持たせよう。
第5回	私たちの発達と障害を知ろう(1)?発達と障害について調べたことをまとめよう
第6回	私たちの発達と障害を知ろう(2)?発達と障害について調べたことを発表しよう 復習: 本日の内容で興味深かったテーマの一つを選んで(自分の担当以外)、調べてまとめよう。質問を受けて答えられなかった場合は、その内容についてもさらに調べてまとめよう。 予習: 自分の担当課題について調べてまとめよう。その際、グループ内で検索ソースにバリエーションを持たせよう。
第7回	私たちの発達と障害を知ろう(3)?発表の振り返りをしよう
第8回	支援について考えよう(1)?支援について調べたことをまとめよう 復習: 本日の内容の中で興味深かったテーマの一つを選んで、自分で調べてまとめよう。 予習: グループのまとめの中でわからなかったこと、興味を持ったことについてさらに調べてまとめよう。その際、グループ内で検索ソースにバリエーションを持たせよう。
第9回	支援について考えよう(2)?支援について調べたことを発表しよう
第10回	支援について考えよう(3)?支援についての振り返りをしよう 復習: 本日の内容で興味深かったもの一つを選んで(自分の担当以外)、調べてまとめよう。質問を受けて答えられなかった場合は、その内容についてもさらに調べてまとめよう。 予習: 自分の担当課題について調べてまとめよう。その際、グループ内で検索ソースにバリエーションを持たせよう。
第11回	二つの見方から考えよう(1)?調べてきたことをまとめよう
第12回	二つの見方から考えよう(2)?ディベートをしよう 復習: 本日の内容で興味深かったテーマの一つを選んで(自分の担当以外)、調べてまとめよう。 予習: 本日のディベートの中で生じた疑問や課題について調べてまとめよう。
第13回	二つの見方から考えよう(3)?さらに深く、ディベートをしよう
第14回	もう一度、シナリオを読んで考えよう?シナリオを読んで問題を創造し、問題の関係性を考え、マップを作ろう 予習: 障害以外の多様性にも目を向け、共生社会について再度考えよう。 復習: 試験に備えるために、これまでの内容を振り返ろう。
第15回	試験
第16回	振り返り?共生社会の実現のための提言を考える。 復習: 身の回りの共生社会について考え、その事例や実現のための方策をまとめよう(最終レポート)。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587054101	科目番号 / Subject code	05870541
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる3 (ICTと社会) / ICT and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福田 正弘 / Fukuda Masahiro, 楠山 研 / Kusuyama Ken, 全 炳徳 / Jun Byungdug		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	福田 正弘 / Fukuda Masahiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	福田 正弘 / Fukuda Masahiro, 全 炳徳 / Jun Byungdug		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fukuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部553室		
担当教員TEL / Tel	819-2315		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水 3		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ICT機器を制御することは理解するとともに、ICTを活用したコミュニケーションの重要性を学ぶ。また、IT機器の操作を通して、生活を豊かにするICT活用法を学ぶ。さらにICT活用の倫理も身に付ける。		
授業到達目標 / Goal	1) 社会におけるICTの活用とその制御の仕組み、種々の課題について関心を持ち、主体的に課題解決に向け探求しようとする (?自主的探求)。 2) ICTを制御している各種言語を理解し、ICT機器を使った表現活動を通してその意味を説明できる (?基盤的知識、?表現活動)。 3) ICTを活用した社会シミュレーションにおいて、協同して意思決定するとともに、社会認識上の意味を考えることができる (?相互啓発志向、?批判的思考)。 4) ICT機器の操作を通して、目的にあった適切な情報処理ができる (?基盤的知識)。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本事項の講義の後、演習課題を提示、個人演習とともにグループワークを採り入れる。		
授業内容 / Class outline / Con	1 オリエンテーション 2-8 【1部 ICTを支える言語】 9-15 【2部 ICTを用いた意思決定】 16 定期試験		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	IT 言語 マッピング シミュレーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	1部2部各50%で、合計60%以上が合格。 欠席が3分の1以上の場合は失格。 * 評価の方法・観点 1部2部共に、授業中の学習状況、レポート等の課題の成果物、発表内容と態度、試験を総合的に判断する。グループによる活動については、グループの協力状況も評価の対象とする。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし。希望者多数の場合は選考になる場合もある。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎回の課題とグループワークを重視します。頑張ってください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回 (4月11日)	オリエンテーション		
第2回 (4月11日)	マッピングブラザを支えるICT言語とIT機器		
第3回 (4月18日)	マッピングブラザを支えるICT言語を体験?		
第4回 (4月18日)	マッピングブラザを支えるICT言語を体験?		

第5回（4月25日）	マッピングプラザを支えるICT機器を体験？
第6回（4月25日）	マッピングプラザを支えるICT機器を体験？
第7回（5月2日）	マイ・マッピングプラザの作成
第8回（5月2日）	マイ・マッピングプラザの発表・評価
第9回（5月9日）	ガイダンス・課題提示・グルーピング・シミュレーションのデモ
第10回（5月9日）	シミュレーション1
第11回（5月16日）	シミュレーション1 続き・シミュレーション結果の分析
第12回（5月16日）	発表準備・資料作成
第13回（5月23日）	発表と相互評価・反省1
第14回（5月23日）	発表と相互評価・反省2・まとめ
第15回（5月30日）	シミュレーション2
第16回（5月30日）	まとめ